

芦原町大火と福井県の対応

「芦原町大火」（資料9、複製資料で全文閲覧可能）は、1956年（昭和31）4月23日に芦原町で発生した大火に関する簿冊です。

午前6時40分頃、芦原駅前から出火。数日前から高温乾燥のフェーン現象で、14.2 m/s（毎秒）の風が温泉街方向に吹き、火はたちまち燃え広がります。この火災による市街地の罹災率は54%にのぼりました。

簿冊には、各省庁に対し復興の援助を要請する電文案や、天皇・皇后両陛下からの御救恤金に対する知事の謹話案なども綴じられています。



火災発生当日の芦原町（写真番号88684）



陸上自衛隊金沢隊の活動（写真番号88696）



救援物資の配布（写真番号88709）



天皇・皇后両陛下からの御救恤金を伝達する羽根知事（受けるは寺尾芦原町長（写真番号88718）